

「八王子の話題は、『多摩織バス停 of Eight Prince』から始まる」

The topic of Hachioji begins in Tama texture bus stop of Eight Prince.

チーム：グラジオラス2

塚本美香、小島桃香 指導教員：水元昇

創価女子短期大学 国際ビジネス学科 水元研究室

現代の若者に人気なのは、インスタ映えである。しかし、八王子にはインスタ映えスポットがないように思う。そのため、私たちは八王子のバス停をインスタ映えスポットにする提案をする。八王子の誇る多摩織とバス停にあるベンチを組み合わせ、インスタグラムに載せたいようなバス停にしたい。多摩織バス停を見るだけで、八王子のことを知っていただけるように、高尾山や天狗、桑の葉やアカショウビンなどの動植物を季節に合わせてデザインし、八王子らしいバス停を作る。

キーワード：多摩織、バス停、インスタ映え、高尾山

1.目的

八王子には、高尾山や美術館など有名な場所はある。しかし、原宿や新宿などにたくさんあるインスタ映えスポットが八王子には少ない。

そこで、八王子をインスタ映えスポットの印象をつけることで観光客が増え、八王子の活性化につなげる提案をする。

2.テーマ説明

『多摩織バス停 of Eight Prince』とは、八王子の誇る多摩織物を軸に写真を撮りたくなるバス停、というテーマである。

3.導入

このテーマを提案する上で参考としたのは、長崎県諫早市が行ったフルーツバス停だ。



(図1 出典：スナップレイス)

諫早市の特産品であるフルーツのアピールと人々の目を楽しませるために作られた。インスタ

映えであり、長崎のインスタスポットとして有名である。

このフルーツバス停を八王子にしかないもので八王子らしく実現したい。

4.内容

①八王子多摩織でインスタ映えするようなバス停に変える。

八王子の多摩織は、日本の伝統工芸品に指定されており、伝統的な手作業により特色のある優れた製品をもっと多くの人に知ってもらいたい。



(図2 出典：東京・多摩のお土産)

現在では、多摩の自然を題材にしたネクタイ(下の画像)やスカーフなどを作られており、実用品として商品を売っている。

また、数々の企業とコラボした商品や祭りも行っており、現代にあわせていろいろな取り組みを積極的に行っている。

②設置場所

高尾山麓にある国道20号線(甲州街道)にあるバス停数カ所に設置したい。

そうすることで、高尾山に観光しにくる人々や車で通る人々の目にとまる。(地図 Google Map)



③デザイン

バス停の前にベンチがあることが多い。下の画像は、インスタ映えを狙ったベンチである。



(図3左 出典: ラッシュレディアコート)

(図3右 出典:星ふる里ペンション)

このベンチの素材をプラスチックの透明な箱状にし、そこに多摩織を敷き詰める。

八王子の多摩織をシンプルにデザインするのではなく、八王子の名物や有名なものを多摩織でデザインしたい。

下の画像がイメージとしてある。



(図4 出典: LIVING 多摩)

これを参考にし、八王子で有名な高尾山やこけし、天狗、パッションフルーツなどを多摩織で表現し、バス停を見るだけで八王子のことを知れるようにしたい。

その他、ベンチ以外にバス停時刻表の部分が多摩織でデザインする(図5参照)のも検討している。

イメージは、京都キモノ・フォレストだ。



(図5 出典:インスタグラム)

5.得られる効果

高尾山周辺のバス停を八王子のこけしや花形、高尾山、天狗、パッションフルーツなどを、多摩織でデザインすることで、高尾山観光客の目にも止まり、多摩織だけでなく八王子の知名度も上がると思われる。

また、若者がバス停をインスタにあげることによって、ネット上に広がり、さらなる観光客を増やすことができると考える。

6.課題

バスの停車に邪魔にならないようにする必要があり、国道側ということで交通量も多いため、写真撮影をする際に十分注意する必要がある。

ベンチは、年々傷や故障が出てきてしまうので、管理や修繕が必要になる。

7.考察

提案するのは高尾山麓のバス停だけだが、設置後の評判や意見を聞きながら、改善し高尾山麓だけではなく、美術館前や八王子のシルクロードであった場所、八王子駅周辺にも設置するのを検討している。

8.参考資料

図1: <https://snaplace.jp/fuitsbus/>

図2: <https://www.tamanoomiyage.jp/cgi-bin/item.cgi?item=01600000015>

図3: <https://www.websta.one/tag/ラッシュレディアコート>
<http://www.asohibiki.com/hibikiblog/2017/10/post-2869.html>

図4: HP: LIVING 多摩

<https://mrs.living.jp/tama/shopping/reporter/3157322>